



教育実習生（未来の先生）を応援します。

現在、全国的な課題となっているのが「教員不足」です。教師になりたいという夢や志をもった人が減っている現状があります。テレビ等のニュースやドラマ等でも教師の多忙さや大変さが取り上げられる機会が多くなっています。実際、学生に教師のイメージを尋ねると「大変」「忙しい」という言葉が返ってきます。私が子どものころは、「金八先生」「熱中時代」（知らない方も多いでしょね…）といった、先生と児童生徒の絆や保護者ともに教育活動に取り組む素晴らしさをテーマにしたドラマやドキュメンタリー番組に触れる機会が多く、教師に憧れを抱ききっかけになっていたのは事実です。そして、実際に教壇に立ち、保護者とともに子どもたちの成長に関わると、確実に成長していく子どもたちの姿やたくさんの「ありがとう」の言葉に「教師のやりがい（自分の存在意義）」を感じ、教職に就いて34年が経つのですが「教師になってよかった」と心から思っています。



【教育実習生の授業（笑顔でがんばりました）】

今年度、本校は2学期末までに11名の教育実習生を受け入れます。これまで5名の実習生が本校で教育実習を行いました。最終日のあいさつで「教師になりたいという気持ちが強くなりました。絶対に採用試験に通ります。」という言葉が聞いて本当に嬉しくなりました。これからの社会を創造する子どもを育てる仕事の魅力を感じ、笑顔でチャレンジする先生として学校で会えることを楽しみにしています。子どもたちにも素敵な思い出が残ったようです。（出会い（愛）の素晴らしさを感じました。）

「できない」から「できるようにする」に向かって

5月18日（水）～20日（金）、高等部3年生が3年ぶりに東京方面へ修学旅行に行きました。目的地を東京にするにあたっては、感染状況や感染対策をもとに、旅行会社、ディズニーリゾート、学校とで入念に打ち合わせを行い実施判断に至りました。東京では、どの施設も感染対策が徹底しており、安心して過ごすことができたのが印象的でした。（戻ってきて1週間は生徒の体調が気になっていましたが、みんな元気で安心しました。）



その後、5月26日（木）、27日（金）は高等部1・2年生、6月9日（木）、10日（金）は小学部4・5年生、6月16日（木）、17日（金）は中学部1・2年生が宿泊学習に出かけましたが、計画通り無事に実施することができました。

また、小学部では学習参観・懇談会も予定通りに実施できました。実際にお子さんの頑張っている様子を目にしたときの保護者の方の笑顔が印象的でした。コロナ禍の対応により、保護者間で横のつながりが希薄化していないか懸念しているところですので、このような機会を活かして保護者間の連携をはかっていただければ嬉しく思います。

また、今年度は、昨年度中止にしていた水泳（プール）学習も感染防止対策をしっかりと講じて実施しています。そして、2学期に予定している中学部・高等部の体育会についても今から準備を進めているところです。

このように、今年度は様々な行事に対して、これまでの経験を活かしながら「できるようにする」という強い気持ちをもって取り組んでいるところです。精一杯頑張っていきますので、応援していただきますようお願いいたします。